

諮問庁：防衛大臣

諮問日：令和7年9月4日（令和7年（行情）諮問第1011号）

答申日：令和8年10月21日（令和8年度（行情）答申第674号）

事件名：「電話番号簿（自動即時用）（平成30年度版）」の一部開示決定に関する件

答 申 書

第1 審査会の結論

「電話番号簿（自動即時用）平成30年度」（以下「本件対象文書」という。）につき、その一部を不開示とした決定は、妥当である。

第2 審査請求人の主張の概要

1 審査請求の趣旨

行政機関の保有する情報の公開に関する法律（以下「法」という。）3条の規定に基づく開示請求に対し、平成31年2月7日付け防官文第1781号により防衛大臣（以下「処分庁」又は「諮問庁」という。）が行った一部開示決定（以下「原処分」という。）について、その取消しを求める。

2 審査請求の理由

審査請求人の主張する審査請求の理由は、審査請求書によると、おおむね以下のとおりである。

（1）（略）

（2）一部に対する不開示決定の取消し。

記録された内容を精査し、支障が生じない部分については開示すべきである。

（3）（略）

第3 諮問庁の説明の概要

1 経緯

本件開示請求は、「「電話番号簿（自動即時用）」（平成30年度版）、及び当該文書を綴っている行政文書ファイル等に綴られた文書の全て。＊前回請求（2018.4.9－本本B78）では、第1回開示分と第2回開示分とファイルが分けて複写の交付が行われましたので、ファイル1個での開示を求めて再請求致します。」（以下「本件請求文書」という。）の開示を求めるものであり、これに該当する行政文書として、本件対象文書を特定し、平成31年2月7日付け防官文第1781号により、法5条3号及び6号に該当する部分を不開示とする一部開示決定処分（原処分）を行った。

本件審査請求は、原処分に対して提起されたものである。

なお、本件審査請求について、審査請求が提起されてから情報公開・個人情報保護審査会への諮問を行うまでに約6年5か月を要しているが、その間多数の開示請求に加え、開示請求の件数を大幅に上回る大量の審査請求が提起され、それらにも対応しており、諮問を行うまでに長期間を要したものである。

2 法5条該当性について

原処分において、不開示とした部分及び不開示とした理由は、別表のとおりであり、本件対象文書のうち、法5条3号及び6号に該当する部分を不開示とした。

3 審査請求人の主張について

- (1) 審査請求人は、「一部に対する不開示決定の取消し」として、支障が生じない部分について開示を求めるが、原処分においては、本件対象文書の法5条該当性を十分に検討した結果、上記2のとおり、本件対象文書の一部が同条3号及び6号に該当することから当該部分を不開示としたものであり、その他の部分については開示している。
- (2) 審査請求人のその他の主張は、令和7年5月14日付け情個審第1755号等により情報公開・個人情報保護審査会から通知された意見を踏まえると、法19条1項に規定する諮問をしなければならない場合に該当しない。
- (3) 以上のことから、審査請求人の主張にはいずれも理由がなく、原処分を維持することが妥当である。

第4 調査審議の経過

当審査会は、本件諮問事件について、以下のとおり、調査審議を行った。

- ① 令和7年9月4日 諮問の受理
- ② 同日 諮問庁から理由説明書を収受
- ③ 同年10月6日 審議
- ④ 令和8年10月14日 本件対象文書の見分及び審議

第5 審査会の判断の理由

1 本件対象文書について

本件開示請求は、本件請求文書の開示を求めるものであり、処分庁は、本件対象文書を特定し、その一部を法5条3号及び6号に該当するとして不開示とする原処分を行った。

これに対し、審査請求人は、不開示部分の開示等を求めており、諮問庁は、原処分を妥当であるとしていることから、以下、本件対象文書の見分結果を踏まえ、不開示部分の不開示情報該当性について検討する。

2 不開示部分の不開示情報該当性について

- (1) 本件対象文書中、別表の番号1に掲げる部分には、自衛隊の緊急時の

連絡部署及びその内線番号が記載されている。

当該部分は、これを公にすることにより、緊急時の連絡先や連絡態勢あるいは枢要な部署等が明らかとなり、有事等の際に、防衛省・自衛隊の任務の効果的な遂行に支障を来すなど、国の安全が害されるおそれがあると行政機関の長が認めることにつき相当の理由があると認められるので、法5条3号に該当し、不開示としたことは妥当である。

- (2) 本件対象文書中、別表の番号2に掲げる部分(99ページの「鬼志別演習場」の2行目、252ページの「看護部」の14行目及び553ページの「病院」の5行目)には、緊急用及び海外等の部外連絡用の電話番号が記載されている。

当該部分は、これを公にすることにより、いたずらや偽計等に変更され、自衛隊が必要とする際の緊急の連絡や部外との連絡に支障を来すなど、国の機関の事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあると認められるので、法5条6号柱書きに該当し、不開示としたことは妥当である。

3 審査請求人のその他の主張について

審査請求人のその他の主張は、当審査会の上記判断を左右するものではない。

4 付言

本件は、審査請求から諮問までに約6年5か月が経過しており、諮問庁の説明を考慮しても、「簡易迅速な手続」による処理とはいい難く、また、審査請求の趣旨及び理由に照らしても、諮問を行うまでに長期間を要するものとは考え難い。

諮問庁においては、今後、開示決定等に係る審査請求事件における処理に当たって、迅速かつ的確な対応が望まれる。

5 本件一部開示決定の妥当性について

以上のことから、本件対象文書につき、その一部を法5条3号及び6号に該当するとして不開示とした決定については、不開示とされた部分は、同条3号及び6号柱書きに該当すると認められるので、妥当であると判断した。

(第2部会)

委員 武藤京子、委員 佐藤郁美、委員 寺田麻佑

別表

番号	不開示とした部分	不開示とした具体的理由
1	緊急時の連絡部署及びその内線番号（公表資料等において、既に公にしているものを除く。）	緊急時の連絡先や連絡態勢あるいは必要な部署等が推察され、有事等の際に攻撃、妨害等の目標となるなど、我が国の安全が害されるおそれがあることから、法５条３号に該当するため不開示とした。
2	緊急用及び海外等の部外連絡用のＮＴＴ電話番号（公表資料等において、既に公にしているものを除く。）	いたずら等の対象とされ、緊急時あるいは必要な部外との連絡・調整に支障を来たすなど、自衛隊の事務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあることから、法５条６号に該当するため不開示とした。